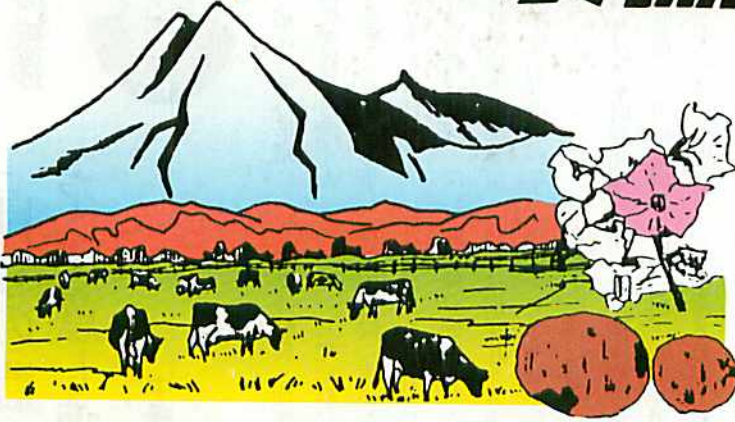


なかいべつ

# 農協だより



第97号

昭和58年1月

発行 中標津町農業協同組合  
編集 営 農 部  
印刷 ナート印刷株式会社

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

1983年 元旦



新年号

中標津町農業協同組合

年頭の挨拶



「自らの農業は自らが守る」  
を決意し邁進しよう

中標津町農業協同組合  
組合長理事 児玉光彦

輝かしい一九八三年の年頭に  
あたり組合員の皆様には健やか  
に新しい年を迎えられました事  
と心からお慶び申し上げます。

世界的な経済激動は不況・深  
刻な失業・貿易摩擦等国際緊張  
を高め、政情不安と混迷の一年  
でありました。

わが国経済も外圧や財政問題  
を抱え景気は低迷し、円相場の  
影響もあって不況感を一層深  
め、年末に誕生した新内閣に景  
気回復を期待しつつ新年を迎え  
ました。農業問題に於いても米  
国の失業・高金利政策に悩む経  
済不振を背景に市場の開放を迫  
り、特に「農畜産物自由化枠  
大」を強く要求され今年に持込  
まれ、専業農家中心の本道にと  
って大問題であり、自由化阻止  
に向け全力投球しなければと考  
えます。

昨年 は酪農・畑作共に良い年  
であり、基礎飼料に於いては収  
穫期の天候に恵まれ、質・量と  
ともに良く、乳量に於いては上  
期は伸び悩みでしたが下期に於  
いては前年比を大きく上廻り馬  
鈴薯・ビートは平年を上廻り、  
澱粉工場移転操業以来の量五十  
二万七千俵を加工致し、ビート  
は一〇アール当り平均四・九ト  
ンを生産され組合員の皆様の努  
力に対し心より敬意を表しま  
す。

産面に於いては一抹の明るさを  
見せてくれる年と思われま  
す。しかし、経済の動行は公定歩合  
の引き下げを始め新政府は景気  
回復対策を取り上げております  
が世界の情勢を考えると、簡単  
に立ち直ると思われません。  
農業の面に於いても財政再建  
の名の下に第二次臨調の基本答  
申も農業補助金の削減等をうた  
い、農業過保護の批判が出て  
来ております。

此れら厳しい農業情勢を踏ま  
え、営農計画作成を基に自己の  
経営を充分検討して見る必要が  
あります。

我が国経済が低成長に移行す  
る中において農協に於いても一  
段と深刻化するであろう事を心  
に刻み、今年には地域農業の指針  
として、「組合員皆様と共に」地  
域農業振興計画」を策定し、農

協を基軸とした将来目標と致し  
たいと思ひます。どうか厳しい  
情勢下にあります「自らの農  
業は自らが守る」の決意で現時  
点の問題点を克服し邁進しよう  
ではありませんか。

最後に組合員御家族の皆様  
御健勝と御多幸を心より祈りつ  
つ本年も良い年である事を念願  
致しまして新年のご挨拶と致し  
ます。



左後列 竹村理事、秋山理事、佐藤監事、山本理事、鷺見理事、金子理事、岡部監事  
左前列 三友理事、千葉監事、千葉理事、児玉組合長、石崎副組合長、横田理事、藤井理事



年頭挨拶

# 新時代農業へ総力を

北海道農業協同組合中央会

会長 床 銅 繁 則

新年おめでとうございます。内外、各界とも多事多難の一九八二年は過ぎ、新しい年を迎えるに当り、皆様のご健康と豊穡、そして協同活動の一糸乱れぬ結束を心から祈念致します。

農協運動は、常に組合員の営農と生活を守り、組合員の主体的な協同理念に基づき実践活動をふまえて、農業の安定確立に努めています。しかし、組合員・農協の積極的な努力にも拘らず最近の農業・農協をめぐる社会・経済情勢は大きく変化し、農業経営はもちろん、農協の経営も極めて難しい状況に直面しています。

特に本道農業は、稲作の大幅な減反・牛乳の生産抑制・農畜産物価格の低迷に加え、営農資材の高騰、更には近年の二年連続冷害凶作などにより、生産は停滞、農業所得も低下しています。同時に農協運営もこれらの悪条件を背景に、経済成長率の低下と景気の低迷・経済金融事情の構造的変化などから、憂慮すべき状況にあります。加えて最近、財政の赤字増大や行政改革の名のもとでの農業予算削減、更に貿易摩擦問題を農業に転嫁して、農畜産物の輸入自由化・枠拡大が提起されている

等、わが国の農業は重大な局面に立たされています。

このような事態のもとでわが系統組織では、昨年十一月に開かれた「第七回北海道農協大会」で「道農業の安定確立と実践方策」、「農家生活の向上と健康管理の強化方策」、「系統農協の経営刷新強化方策」、「道農業基本構想の樹立推進」を決議するとともに、「農畜産物輸入自由化・枠拡大阻止」の特別決議を行いました。そしてこれら決議事項の実践を通じて難局を打開するため、全道農協組合員の意志結集を図り、食料・農業・農協に対する正しい理解を内外に求める目標を設定しました。この目標を基調に本年からは、食料自給率向上を基本とした農業基本政策の確立を道や国に強く要請すると共に、自らもまた、農業振興の具体策を明らかにし、需要に見合った低コスト生産を指向することが要であり、共々努力が望まれます。

決意を新たに、全道十万户農家の皆さんと共に英智と団結をもって、厳しい中にも新時代農業を目指し、勇気ある農協運動の展開に努めたいと念願しています。



# 年頭のごあいさつ

中標津町農業協同組合 参事 伊藤 松 義

明けましておめでとうございます。五十八年の新春を迎え組合員の皆様には心よりお慶びを申し上げます。

激動する国際情勢と経済不況の中にあつて国内経済は個人消費の不振と共に景気動向は依然として回復のきざしを見出せない状況にあります。農業を取りまく環境は二年連続の冷害害・生産抑制の後遺症に加えて、営農資材の値上り、生産物価格の低迷と農畜産物輸入自由化枠の拡大の外圧攻勢の難問をかかえて越年を余儀なくされた厳しい年でありました。

に欠かせない良質な粗飼料など確保が充分に出来た事と併せて、前半低産量で心配された生乳の生産も十月以降順調な増産に転じ当初計画を達成出来る見込みとなりました。又酪農不況の要因である生乳の需給関係も好転して来た事は今後の経営に大きな力となるものと思われまふ。又畑作においても馬鈴薯及びビート共に近年にない生産を上げる事が出来ました。これらは組合員皆様の経営努力の賜ものと存じます。然しながら農業情勢は依然として不透明であり、今年も農業・農家に対する風当りは強く楽観をゆるさない状況であります。個人消費の不振による景気低迷の中で農畜産物の輸入自由化の要求は一段と強まり生産物価格の上昇の期待は薄く厳しい年となりそうです。酪農収入の柱は牛乳と個体販売であり、これらの生産確保の

昨年、春以降一時期心配された天候も夏から秋にかけて二年ぶりの好天候に恵まれ、酪農経営

設備投資の抑制と農機具等の有効活用、基礎飼料の自給率の向上等による経営収支計画の樹立(営農計画)をして頂き、健全経営に取り組み希望に満ちた年にして頂きたくお願い致します。農協運営も年々厳しさを増して来ております。厳しさを肝に銘じ認識を新たに、経営改善に努め組合員各位の付託に応えるよう努力して参りますので御理解と御協力をお願い致します。組合員各位の御健勝と益々の御発展を祈念致しましてご挨拶と致します。

# 年頭のごあいさつ



北根室地区農業改良普及所長 木村 猛 三

昭和五十八年の年頭にあたり、組合員はじめ家族の皆様は心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年の天候は一部をのぞき、平年並からやや良の気象経過に恵まれ、各作物共に極めて良好な成績で終り、特にてん菜はヘクター収量四十九トンを超破し、五十四年を越す史上最高を記録することが出来ましたことは、まことに喜ばしい事であります。

また、農業をとりまく諸情勢は前年にひき続き、農畜産物貿易自由化をはじめとした外圧、国の財政危機・臨調がらみの内圧と、極めて厳しい情勢が続く中で、四月以来畜産事業団在庫乳製品の放出が七カ月も続き、バター三千トンの緊急輸入がなされた事は酪農経営者および関係者にとって牛乳需給面で長い

トンネルの遙か向こうに一本の灯を見出し出した感じがいたしました。

しかしながら、国の財政は益益緊張縛度を増し、昭和五十八年度農水省の予算要求額も、三兆六、七二八億円とマイナスイーリングとなり、その他あらゆる情勢から判断しても本年も昨年を引き続いて楽観の出来ないのが現状なのであります。

七月二十日の臨調第三次基本答申に見られるように、農業に対する第三者の風当りは極めて厳しく、また、八月二十三日農政審議会から「八〇年代の農政の基本方向」の推進についてと題する報告が農林水産大臣に提出されたものをみても、食糧の安定供給と安全保障・健康的で豊かな食生活の保障、そして、生産者、特に土地利用型農業者に求められていることは一貫し

てコストダウンによる生産性の高い農業の実現であります。

根室酪農は、全国一の規模が確保され、EC諸国に劣らぬ規模となっております。しかしながら、内容については必ずしも満足出来ない状態と思われま

す。酪農は、人の能力が牛の能力をいかに引き出すかの産業と思えます。一つ一つの技術の積み重ねと発想の転換によって経営の発展に尽力されるよう希うものであります。

普及所も関係機関と強力な連携のもとに皆様と力を合せ、難局打開のため、職員一同決意を新たにしている次第であります。

最後に、皆様の益々の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。

# 知恵と団結をもつて進もう



中標津町農協青年部 部長 長正路 清

明けましておめでとうございませす。一九八三年の新春を盟友はもとより、組合員の御家族の皆様には、御健勝で新年をお迎える事と心よりお慶び申し上げます。

昨年の農業界を取り巻いた諸情勢は混迷の一年でした。乳価は据え置き同様、補助金等の見直し、そして農畜産物自由化、枠拡大問題など暗い幕明けであったが、春以降良い天候に恵まれ、良質粗飼料が確保され、同時に飲用乳の消費が伸びるなど、酪農界にとっては薄日がさし始めた。ピート、馬鈴薯も、例年

にはない高収量を得、経済不況の中では良い年であったと思う。

これらを契機に我々若者は、明るい豊かな農業を目指し、諸問題を避ける事なく知恵を出し合い団結力をもつて進もうでは

ないか。

青年部事業の中にも組織としての課題を持ち、経営者となるために人間教育の場として、各関係機関の指導を仰いで進めると共に自ら切り開いていきたいと思ひます。

年々青年部事業も増え活動範囲が広がっている中で、参加者がもう一步と言う一つの悩みを抱えているが、青年部の基本を明確にし、魅力ある活動にしていきたい。

人と人とのつながりは言葉、話す事だと思ひます。安心して見ていてもらえる後継者であり、組合員となるよう努力して行こうではありませんか。

最後に、部員の皆さん、組合員・職員の方々の御健康と御活躍をお祈り申し上げ新年のご挨拶と致します。



# 年頭のごあいさつ

中標津町農協婦人部

部長 安達 いその

明けましておめでとうございます。婦人部員の皆様方には健康やかで新春を迎えられました事と心からお慶び申し上げます。

五十七年度は良いお天気に恵まれて、馬鈴薯や、ビートは豊作でした。牧草も、良質の干草を収穫出来ましたが七月十日すぎの長雨には大変苦労致しました。

五十七年十一月十七日、十八日の二日に亘って道農婦協設立三十周年記念、全道農協婦人部大会が札幌で開催されました。ここで緊急提案として、農畜産物輸入自由化・枠拡大阻止に関する特別決議が会場全員の拍手で採択され、全道農協婦人部員一丸となって取り組んで行く事に決まりました。

これは、道民各層への理解と協力を求める動を続けて参らなければならぬと思います。諸物価が年毎に高騰する中で加工原料乳保証価格は五十七

年度は五年目でようやく一キログラム五十銭の引き上げで、誠に厳しい酪農情勢の中で家計簿に占める交際費の割合が大きいく、これを訂正するために婦人部では、生活改善委員会を設けて部員の皆様の御協力を頂いてアンケートによって検討中です。本年は婦人部組織結成二十周年を迎えますが三十年の歴史の重みを身の引きしまる思いで感じると同時に、ここまで育てて発展させてくださった関係機関の方々や、先人の方々に、深く感謝と敬意を表します。今後も部員一人一人が、力を合せて、農協をよりどころとして、より明るく、豊かな生活作りに努力し、自給野菜を活用して食生活に生かし、健康を守り力強い組織活動を進めるよう念願致しております。一九八三年は、部員の皆様と御家族の皆様にご幸多き年でありませうお祈り致しまして新春のご挨拶と致します。

## 長年の苦勞と努力が 実る!!

第10回毎日農業賞受賞

東武佐 安達花枝さん



「子供の成長にすべての夢を託して」と題して、東武佐の安達花枝さん(六十五才)が第十回毎日農業賞に輝いた。昨年の十二月十四日、毎日新

聞社主催及び財団法人富民協会共催の毎日農業賞授与式が東京毎日新聞社で行われた。

花枝さんは四十二才の時に夫に先立たれ、女の手一つで子供五人を立派に育て、三人兄弟が共同経営を行うに至るまでの記録と、三十年間に亘る家計簿記帳が経営・生活に生かされ、その成果が評価され受賞となった。また、第一回中標津町菊花展で町文化協会長賞を受賞するという二重の喜びに胸をはずませていました。今後ともその活躍を期待致します。

### 当幌老人クラブ

## 見ごと町内で優勝

〔当幌〕 昨年中標津町内は、ゲートボールブームとなり、町内老人クラブは競ってゲートボールに執申した。

青年会議所、町教育委員会がその指導に当り、第一回中標津町長杯を開くまでになった。御多分にもれず当幌老人クラブも

第二回中標津町長杯ゲートボール大会

### 第1回中標津町長杯争奪ゲートボール大会



酪農最新技術③

# 受精卵移植

雪印乳業中標津工場 芳野 誠

新年おめでとうございます。

輝かしい新年が酪農界にとって  
も活気のあるすばらしい年であ  
りますようお願いして止みません。

今年も拙文ですが、この稿をお  
借りして、皆さま方に注意して  
欲しいこと、知って欲しいこと  
など述べさせて頂きたいと存じ  
ます。さて、新年早々のテーマ  
は、受精卵移植の未来について  
であります。今まで二回は、受  
精卵移植(E・Tといひます)

の概要と実態についてお話しま  
したが、このほかに次のような  
新しい課題や技術面での研究や  
開発が行われているようです。

### 一、雌雄の判別

生まれてくる仔牛がるか牛か  
が判別できたり、又規制するこ  
とが可能になりますと酪農家に  
とってどれだけ利益になるかわ  
かりません。世界中の学者が研  
究にとりくんでおりますが、ま

だまだ多くの問題があります。

### 二、双子の生産

肉牛の生産、増殖に大変役立  
つと思います。ホルスタインの  
雑牛に和牛の受精卵二個を移植  
すれば、和牛の双子が生産され  
ます。分娩するのはホルスタイ  
ンですから双子でも難なくお産  
するでしょう。ただ、受精卵移  
植による和牛の登録問題があり  
ます。(ホルスタインでは受精  
卵移植による登録は何の問題も  
ありません。

### 三、牛の体外受精

いわゆる試験管ベビーで、実  
験小動物では成功し、人間でも  
イギリスで第一号が報告されて  
おります。牛のような大動物で  
は大変難しいのですが、牛の卵  
巣には何万個という原始卵胞が  
ありますので、この体外受精が  
可能になると乳牛改良面でも飛  
躍的な発展が期待できます。

### 四、仔牛からの受精卵回収

仔牛から受精卵を回収できれば  
世代のスピードアップが図られ、  
家畜の改良面で大変有益です。

このようないろいろな課題が  
研究され実用化されていって、  
畜産界にも大きな変化が起こっ  
ていくでしょう。近年の科学の  
進歩は目ざましいものがありま  
す。新しい年を迎え、我々雪印  
チームは受精卵移植でも皆さま  
のお役に立ちたいと、一層精進  
し頑張っていくことを誓い合っ  
ております。

## 日本の農業を先どりするために

地上  
家の光



お母さん

母さんの声は  
一生忘れない  
ものです。

## 生活講座⑬

# 生活設計を たてよう

北根室地区農業改良普及所

生活設計とは、自分および家  
族が将来どんな生活をしたいた  
いという目標をかけた、この目標  
を達成するために計画的に努力  
し、営農、生活することです。  
よく一年間の暮しの予定もた  
たないのに、十年先、二十年先  
の暮しの計画など立つはずがな  
いと言われます。しかし十年先、  
二十年先には家族も自分も確実  
に十才、二十才年を加えていま  
す。年令が上昇することにより  
色々な動きが伴います。この動  
きを早くつかみ計画的に備えれ  
ば、その場に至って動揺するこ  
となく、安定した余裕ある生活

が送れるのです。

私達が生活していく上で、ど  
のように社会が変化しても、生  
活の仕組みや生きかたの上で避  
けることのできない出来事があ  
ります。あらかじめ予測できる  
子供の教育・独立・結婚・出産、  
自分達の老後のこと、あるいは  
住宅の新築・改築・家財の入替、  
旅行計画などや予測のつかない  
不慮の事故。

生活設計では、これらの事項  
に計画をたて、目標をもって計  
画が実現するよう、意識面、資  
金面の準備や暮らし方をします。

◎夫婦の計画 Ⅱ 老後の暮らし方、  
旅行計画のこと

◎家族の計画 Ⅱ 教育(高校・短  
大・大学)結婚・就職・独立、  
両親の年祝いや旅行のこと

◎消費計画 Ⅱ 自動車、大型電機  
製品、家財の入替、住宅の新改  
築など、費用十万元以上のもの  
とし、経常家計費で補えないも  
のを計画します。

実際の計画に当っては、次の  
原則に従って下さい。

一、家族の味が将来どのよう  
に変化するか、特に家計の関連  
において捕えること。

若い芽

# 牧場建設に夢

西共栄 片野さんご一家



酪農を業農へ変えていきたいと抱負を語る片野博さんは、離農跡地に入植して八年目を迎えた。入植当時三五haの草地と、乳牛一〇頭で始まった今、一五〇を目標に生産が三倍になるつとじている。

酪農への希望を抱いたのが、今から十五年前、四国の香川太子農学部を卒業してから始まった。卒業と同時に第二侯落の竹ノ牧場で実習、その後通算七年

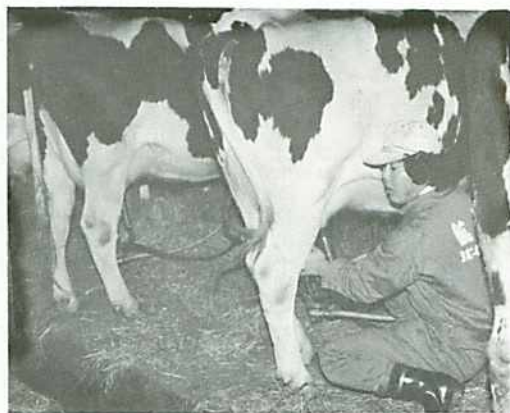
間の実習生活が、今の経営の基となった。土地を肥やし、最大限に利用していくことを柱に、新規投資を控え、生産増、つまり乳牛の個体能力を上げる事がこれからの課題ですと、酪農にかける夢も大きく育っている片野さん。

当時、乳牛、施設投資の資金返済に苦慮した事が、牧場建設の夢が働いて苦労と考えず歩んできたそうです。その間、四人のお子さんに恵まれ、今では手も離れ、余裕を持つようになったと語る奥さん(厚子さん)は、地域の若妻達との交流を持つるまでになったそうです。

牧場建設の厳しさと夢とが交り合い、その中に農村生活の喜びを深く味わっているのが片野さん一家。最後に、片野さんは、部落の人達に世話になった事を感謝しつつ、業農を目指していく決意を聞く事ができました。

## 酪農ヘルパー

# 一年の歩み



五十七年一月、酪農ヘルパー事業が、四人のヘルパー要員で

スタートして一年が経過した。その結果を見ますと、要請が十一件あり、冠婚葬祭五件、病氣一件、公的出張二件、病氣見舞二件となっています。利用した組合員も安心して任せられると好評でしたが、出動したヘルパー要員も他人の仕事とあつて真剣に対応しており、今後の組合員の御理解と御利用をお願い致します。

〔申し込み先〕  
農協開発振興課までお気軽に御相談申し込み下さい。  
尚、申し込みは希望日の一週間前をお願いします。

二、世帯・家族の発展段階に即した計画をたてること。たとえば長期生活設計の柱になるのは教育、住宅、老後の三つを目標とするが、すでに達成されている世帯では、その時期や家族の型に応じて臨機応変にたてること。

三、一度作つたら一生適応できるものでなく、常に見直し、条件の変化によって修正しなければならぬものであり、計画・実行・反省の結果を次の計画に生かして行くべきものです。

家庭周期の特徴と課題は次のとおりになります。

生活周期	特徴	課題
基礎確立期 (夫婦の年齢 20~30代前半)	・出産、育児、養育期	・営農、生活の基礎づくり ・子供の育児費、基礎教育費の計画
活動期 (30代後半 ~50代前半)	・子供の教育時期 ・生産、生活の旺盛な時期	・子供の教育費の準備 ・住宅の増・改・新築の計画 ・耐久消費材の充実
安定期 (50代後半 60代前半)	・子供の独立 ・生活の安定する時期	・老後生活費の準備 ・後継者への経営移譲
慰安期 (60代後半~)	・安定した老後のための生活	・老後の生きがい、楽しみのもち方

# 営農技術

## 目標達成のために 綿密な計画を

北根室地区農業改良普及所

新年を迎え昨年の反省とともに、新たな気持ちで本年の営農計画を樹立されていることと思います。

農業経営における最終目標は農業所得、農業利益の増大、確保です。この所得を得るまでの過程は、生産管理の多くの要素を含み、多岐に渡っています。

特に酪農経営においては、草地での飼料生産と、それを利用しての牛による乳生産が一体となつて、ようやく生産物となり所得が産み出されることから、畑作など比較して、複雑な生産過程を経なければなりません。そのため、酪農は畑作に比べ問題点を産み出す要素を多く持つ

ていることにもなり、常に多くの問題点が指摘されるところの所以でもあります。

現状における中標津の酪農経営も、他地域と同様に多くの問題点を抱えています。その一つ一つは決して大きな問題ではなく、むしろ複雑な生産過程における小さな問題の積み重ねと言つても良いでしょう。この小さな問題が故に置き去りにされたり、複雑さに嫌気がさして、中途で折ってしまうことによつて、総合され経営の中の大きな問題に発展していつてしまっているのです。

農業経営の最終目標は、あくまでもより良い生活を得るための所得の増大です。この所得の増加をはかる方法として、大きく二つの方法が挙げられます。一つは生産量の増加、もう一つは、コスト低減による所得の増加です。これらの二つの方法において切り離せないのが、生産費です。コスト低減については勿論のこと、生産量の増大においても、生産資材などの追加投入が無くては、達成しがたいことです。このことから、この二

つの方法は、生産費を軸とした車の両輪といえます。酪農経営では、特にこの両輪の進み具合のバランスを見極める必要があります。

最近における問題点の一つである、良質粗飼料確保のための乾草の調整機械施設に例をとつて考えてみますと、最終的な目標は、良質粗飼料の給与による乳生産量の増加と、それに伴う

乳単位当りの生産コストの低下による所得の増大となります。

この目標のもとに、モーターコンディショナーからビッグベラーまで導入体系が確立されていますが、現状においては、労働生産性の向上はされても、本来の目標とした良質の粗飼料確保、強いては、所得の増大まで到達できているでしょうか。

この課題においては、一時的

に労働コストの低減で前進はしたものの、機械費というコストに押し戻され、両輪のバランスがくるってしまっています。

この例からも伺えるように、多くの問題が混在する現在、所得増大という両輪の前進をはかるには、適格な問題点の把握と綿密な計画を樹立すること、更には、推し進めるといふ実行力が必要とす。

## 全道十万户農家の意志結集

### 第十七回全道農協大会

「地域農業の振興確立」「農家生活の安定向上」「農協経営の刷新強化」「基本構想の樹立推進」をスローガンに第十七回全道農協大会が昨年の十一月二十五日、札幌市の厚生年金会館で開かれた。

全道から二千三百人の役員が集まり、当農協からは、理事者五名、青年部、婦人部から各一名が参加した。

今回の大会では、「道農業の安定確立と実践方策」「農家生活の向上と健康管理の強化方策」「系統農協の経営刷新強化

方策」「北海道農業基本構想の樹立」の四つの決議を行うと共に、

農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止に関する特別決議も満場の拍手で採択した。

農業の安定確立のため、地域

農業振興計画を農協を基軸として、組合員の総意で策定し、農業生産コスト低減のため土地基盤の整備、生産技術の高度化、生産者組織の体質強化による生産構造の改善をはかる必要がある。

農家生活の向上と健康管理の強化については、今回初めて取り上げ、暮らしの計画化運動、

農協健康基金制度の推進など、農村環境の変化に対応するため、老後の生きがいを持てるよつな環境作りの推進。

次に、系統農協の経営刷新強化については、農協の経営体制整備強化を柱に農協組織の整備を促進する。更に系統農協事業活動の強化などを推進する。

最後に北海道農業基本構想の樹立に当っては、組合員及び組織の努力目標かつ行動目標を設定し推進する。

以上四つの決議に加え、農畜産物自由化、枠拡大阻止に関する特別決議を採択して大会を終了した。



## 薬草の効用

# ミカン

薬用部＝皮  
かぜ、気管支炎、  
冷え症に



〔薬効〕 成熟した果実の皮を陰干しにしたものを、陳皮と呼んでいます。漢方では、採取後一年以上経過した陳久品がよいとされたことから名づけられています。民間では、かぜの初期や気管支炎などに、一日量五グラムをコップ一杯の水で半量に煮つめ、砂糖を小さじに一〜二杯ほ

ど加え温かいうちに飲みます。この時、おろしたヒネシヨウガを小さじに軽く一杯加えるといっそう効果があり、健胃にも役立ちます。また、冷え症などには布袋に二〜三握り入れ、風呂に浴料として入れておくと、保温効果があり、疲れもとれます。

# 新婚さん



北進地区

## 沖 芳美 くん タカ子 さん

57年  
去年の十月三十一日、中標津町ホテル葵で、滝本勇雄様御夫妻の御媒妁で、沖芳美君とタカ子さんの結婚祝賀会が盛会に行われました。

二人は、去年の二月、滝本さんの紹介で初めて出会い、約九カ月の交際の後にゴールインしました。

タカ子さんは、沖一美さんの四人姉妹の長女として、高校を卒業後四年間北信連中標津支所に勤めていましたが、家業の酪農に志して修業中、出会いとなつたそうです。

一方、芳美君は、米どころの栗沢町の出身で、札幌の高校を卒業と同時に、酪農を目指して実習生活に入ったそうです。その間、標津町古多榎で、二年間実習、その経験を通して考える事は、もうかる酪農、ムダな投資をせず、又、乳牛の改良を行っていきなさいなど、親の経営を学びながら、一步一步進んでいきたいと抱負を語っていました。明るい二人は、地域社会に早く溶けこんでいく事でしょう。

## 農協婦人部生活研修会から

# 自家野菜を使った 料理講習会

# 味はうまい



おもしろいおまわり

自家野菜を使った料理を始めとした、農協婦人部主催の生活研修会が、十一月二十五日から十二月四日まで、七地区で行なわれた。

午前中は、自家野菜を持ち寄つての作り方を、北根室地区農業改良普及所の榎田生活改良普及員によって指導をうけ、五品目を約一時間半で作り返え、料理を囲んで昼食のひととき、自家野菜の利用法と栄養についても学び、午後からは、家計簿記帳による生活改善の方法についても学ぶ事が出来、記帳により分析を行い、家計の実態を知る事が第一でそこから出発していく事が生活改善につながるなど課題は多い事を知りました。

その後、黒田購買部長、入倉生活店舗課長を交えて、生活店舗等について意見交換を行い有意義な研修会を終える事が出来ました。



# 初産牛の平均得点は

# 七九・〇点

昭和五十七年度

秋期高等、二代本登録体格審査報告



昭和五十七年度の秋期高等、二代本登録の体格審査が、十一月十六日から十八日まで実施される。審査員は、北海道ホルスタイン農協調査部長で、

日本ホルスタイン登録協会審査委員の道下元四郎氏が、この地区で初めて審査に当たりました。

受検申込頭数は、中標津農協でも一九三頭と、二百頭を切ったのを始め、根室管内総体では例年の実績の八五%にとどまりました。この原因は、近年の酪農不況と、個体販売で、上物の市場性が薄れて来たためではないかと思われま

す。又、五九年度からの牛群審査方式で高等登録が廃止される気運が有り、これも大きな要因となっていると思

います。今回の体審の最終結果は、受検頭数一六三頭、平均得点七九・八点でありましたが、春期では平均八〇点に到達した点数も逆戻りになってしまいました。特に初産牛では昨年の秋期を〇・七上廻り、今

回は六一頭で七九・〇二点という好成绩を出しており、乳牛改良の成果が現われているようです。又個体については、俣落の藤田清牧場で、八五点(VG)を二頭出したのを最高に、八四点五頭、八三三頭、又開陽の今井牧場では初産牛で八二点を獲得しております。高得点牛の一覧は別表の通りです。

今回の体審の事前から、得点に対する講評を出来るだけ受けけるように、そして不明な点は出来るだけ質問するように奨励した結果、積極的に質問する人も居ましたが、未だ少ない感じがします。次期からも一頭ずつ講評を受けるよう心掛けて欲しいと思います。又体審中必ず登録書の班紋ちがいで、現畜とも一件ありましたが、登録書が来たらずぐ現畜との照合を心掛けて下さい。

初代本登録については、乳検をやっておられる方は能力でも可能ですが、体格審査を希望される方は、常時受付を行っておりますので申し込みして下さい。ある程度の頭数が集まれば実施しております。

尚、次期の高等・二代本登録の体審は冬期となり三月上旬の予定です。

得点	名	号	年令	畜	主
85.0	アグロ デコール		8才	藤田	清
"	チルダ シューブリーム			"	"
"	ピーターチェ	パトリシア	5才		
84.0	ブルービー	ベル	6才	滝場	慎二
"	ビクター	ボブ			
"	ドニール	ジャンス	5才	長正路	清
"	クリスタン				
"	サニーデール	デージー	3才	弾正原	正
"	クロス	エコー			
"	マラソン	ホープ	"	松本	正通
"	クリスタン				
"	アース	イースト	5才	佐々木	昭雄
"	ハッピー	ベル			
83.0	リラ	バーチ	"	阿部	文雄
"	ローラ	ボン			
"	ウイス	ラグ	6才	吉川	晴久
"	アップル	フラワー			
"	プライド	シューブリーム	5才	国光	達夫
"	ソプリ				
"	マダム	ローヤル	4才	土井上	信一
"	エディション				
"	スカイラー	ク	"	奥村	洋行
"	エンボイ	クリスタン			
"	エム	ビー	7才	篠永	栄
"	エフ	カーネーション			
"	クロス				
"	ビーア	チェ	4才	松本	正通
"	ビクター	クイーン			
"	ウイス	コラ	"	藤原	賢二
"	プレステージ				
"	バーチ	ベネット	8才	福島	昭憲
"	ボブ				
"	リバー	ローヤル	6才	山本	清
"	コマンダー				

(畜産係)

短歌

日常生活を  
歌につづり  
受賞となる

一年間に渡り日常生活を歌に託し、農協だよりに掲載して頂いた、井口精一さんと渡辺民江さんの二人が、短歌の結社である原始林（所屬）から各賞に選ばれたのでここに御紹介いたします。

この原始林は、全国で短歌を愛好する人々の集まりで、約二〇〇〇名の会員を有しています。

昨年の八月に帯広市で原始林の大会があり、その席上で井口精一さんがただ一人田辺賞を受賞、渡辺民江さんは、五十五年田辺賞を受賞し、今回は、互選高得点歌で一位となりました。

二人の作品は、自然の中で生きたすぐれた作品と評されている。感情を鮮明に描き出す。



南武佐  
井口精一  
田辺賞受賞  
作品から

除 角（抄）

ひとたびは積りしなれど冬晴れて牧区の雪は堅くなりたり  
脱ぎて置くセーターよりくる牛の匂ひに嗅ぎたる儘に眠りゆきたる  
切り落す角の血しぶき見定めて焼き鏝あつるに牛は吼えたり  
背に乘られ擦り傷作る発情の牛は寄り来る何れにもやさし  
牛放ち乱れし雪原の上にして夕茜雲鎮まりゆきぬ



豊岡  
渡辺民江  
五選高得点歌  
受賞作品から

この作品は帯広大会で好評を博した作品です  
木戸開くる牧区に若牛二百頭なみたれりる地ひびき立てて

立ちどまりわがやり過ごす突風は雪あほりつつ野面を行けり  
風向きの變りて畜舎の北壁に雪吹き当たる粗き音にて  
君通り来たれるすぐ後たまつきの事故ありしとぞ地吹雪の中に  
木々まとふ雪は昼どきにも解けずして雪片なまふけふる空より  
陽の当たる坂登り来れば強風に野の雪とびて果てかすみあつ

農家生活にも行革

普通の時代が  
やってきた

北海道報徳社

（明日が今日より豊かになる）

「来年が今年より良くなる」と誰も保証することができなくなってきた。

世間では、成長ももう一度ともがいていますが、これが時勢というものでしょう。戦後二〇余年、毎年一〇%近い経済成長、これこそ異常だったのです。農業でもゴールなき規模拡大に狂奔し、農村を去った人も多い。毎年農産物価格の値上げを迫り、喜びの反面他物価の値上げが先走りし、不安と焦燥の幾歳月だったのではないのでしょうか。（普通の時代がやってきた）

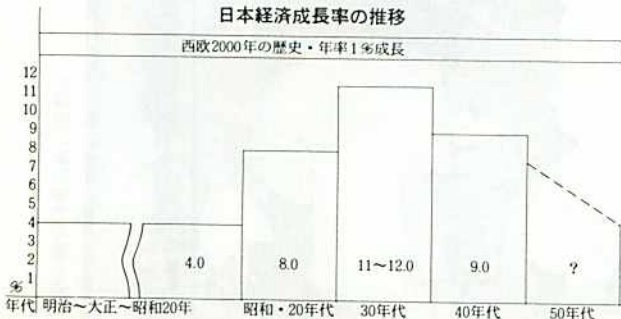
まだ、マイナス成長にならないのが救いです。永い歴史からみれば、普通の時代というのでしょうか。

成長しか知らない人は、苦しい苦しいといいますが、過去に学び、物の値段は下ることもあれば、売れないこと、また凶作もある。

上るばかりでないと判れば生活方法、人生設計に深く立ち入って、変えることがあれば大きく変えなければなりません。

日本経済成長率の推移

西欧2000年の歴史・年率1%成長



# 大会各報

## 責任ある農業

### 確立を目指して

#### 中標津町農協青年部

#### 〔第五回根室地区農協青年部大会〕

昨年の十一月二十六日、弟子屈町で管内八十余名の盟友が参加して地区大会が行なわれた。当農協青年部からは二十一名

の部員が参加した。大会の中で特に地区青協が、「今後の根室農業における基本方向」と題して生産コストの低減、金融問題、人間形成、農協組織についての提案資料が出され、それを基に意見交換が行なわれた。

また、日銀釧路支店の藤崎課長による、「最近の経済情勢について」と題して講演があり、データーを用いて、石油の動きと食糧との結びつきについて話され、日本農業が更に発展していくためには、コストを下げる事が最重点と問題点を提示して言いました。全日程を終えて部員同志の意見交換も行なわれ有意義な大会参加となった。



全道大会全体討議

#### 〔第三十二回全道農協青年部大会〕

昨年の十二月二日、三日の二日間、定山溪温泉で全道大会が全道から約一〇〇〇名の参加で開催された。当農協青年部からは、三名の部員が参加した。

分科会、全体討議を通して、農協青年部組織の強化、並びに農協との関わりをどのように進めていくか、学習活動を積極的に行うべきなど、今後の青年部活動を強化する意見が多く出された。

最後に、農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止に関する特別決議を採択して大会が終了した。

## 保管に気をつけて直して使う

### 農機具

農協青年部 農作業勉強会



農機具を効率的に使おうと、五年前から始めた農作業勉強会が、昨年の十一月二十二日、部員三十七名の参加で、西当幌の山田一夫さん宅で行なわれた。農機具を入れ替える前に直したり、改善したり、保管に気を付けて長く使う事がどんなに大切な事かを、山田さんの話を聞き見して学ぶ事が出来た。

その後、札幌市内に出て、農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止の街頭署名を行い、三千数百名の署名を得た。



札幌市二条市場での署名運動

# 大会参加報告

## 新たな決意を持って 一歩を踏み出した

### 道農協婦人部設立三十周年記念

# 全道農協婦人部大会

「部員ひとりひとりの力を結集し、実りある婦人部活動を」をテーマに道農協婦人部設立三十周年記念全道農協婦人部大会が昨年の十一月十七日、十八日の両日札幌市で行われました。

全道から二二〇〇名の部員が参加し、当農協婦人部からは、五名の部員が出席した。初日は、定山溪ホテルで全体討議が行なわれ、八〇年代の農協婦人部の方向づけとして社会の中で農村婦人ひとりひとりが農協婦人部の活動に参加し、みんなが積極的に取りこんでいく事を大切に、これからの活動は年代別、立場別の活動が望ましいのではないかと、農業者年金にも婦人が加入できるような強い要望が出されるなど活発な意見交換がされた。

午後から「笑いと人生」と題して三遊亭山楽師匠の記念講演

道農協婦人部設立三十周年記念

全道農協婦人部大会



があり、生活の低辺を考えたなら人生に不足は無い、戦時中の東京大空襲に逢い戦後の食糧不足に逢って、食うや食わずの中で成長した体験談から、精一杯自分達九人を育ててくれた両親への感謝、そして泣き笑いの中に人生がある。悲しい時、苦しい時、嬉しい時、これを歌(俳句短歌、詩など)にする事は大切な人生勉強になる。又、子供は親の背を見て育つ。一生懸命働

いて生きる姿こそ子供に対する何よりの教育であるなど、貴重なお話を聞く事が出来ました。引き続き家の光記事体験発表があり、一日目を終えました。二日目は、札幌市民会館に移り記念式典に続き、前日の討議結果報告を行い、農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止を特別決議案として提案され満場一致で可決し、大会が終了した。

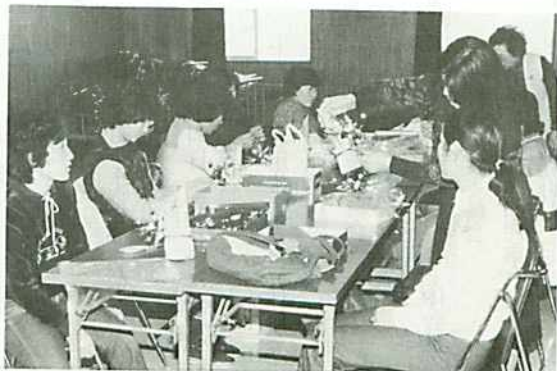
## お正月の飾り作り熱心に!!

### リボンフラワー講習会

### 農協婦人部若妻部会

正月を前に家の中を飾ろうと、農協婦人部若妻部会のリボンフラワー講習会が昨年の十一月二十四日、十七名の参加で行われました。

例年は、リボンを使って花を作っていました。お正月にふさわしい壁掛を二種類作り、真剣に作り方を学んでいました。



## ゲートボールで一汗、バレーボールで二汗

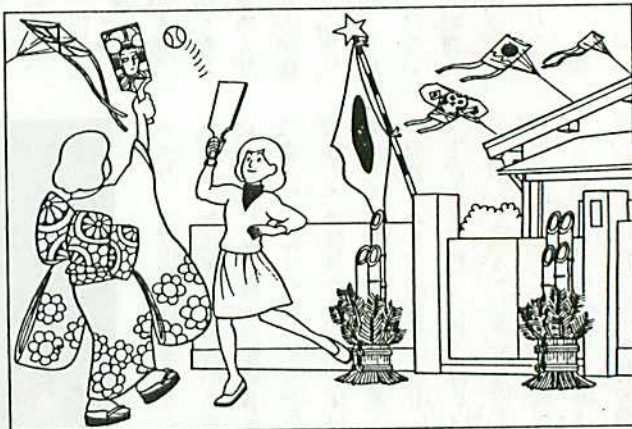


若妻部会

農困期にスポーツをしようとして始めて二回目を迎えた、若妻部会バレーボール大会が昨年の十二月七日、町体育館で行われた。初めての試みとしてゲートボールを行ったが、ルールを覚えるにつれ面白味が出て何回も行い昼食の時間が伸びる程でした。午後からは、バレーボールの試合となったが、人数不足のため、五人対五人という珍試合となり、みんなが汗を出し、楽しいひと時を過ごしました。

小・中学生の応募をお待ちしております。  
 応募者は記念品をとりに来て下さい。

# 間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違  
 いがあるでしょうか。間違いを  
 見つけて、その数をハガキに書  
 いて送って下さい。

**〔応募規定〕**

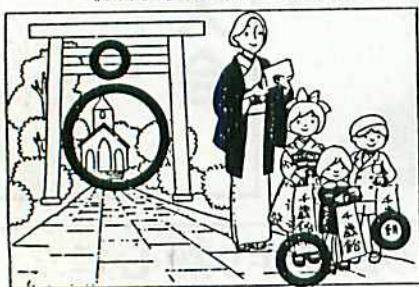
- ①官製ハガキに答えを書いて送  
 って下さい。
- ②あなたの氏名・年令・住所を  
 書いて下さい。
- ③対象者Ⅱ小・中学生
- ④宛先Ⅱ中標津町東七条南 丁目  
 中標津町農協組織広報係
- ⑤締切日Ⅱ一月二十日まで

※正解者に記念品を贈呈、正解  
 でなかった人にも参加賞を贈呈  
 しますので多数応募下さい。  
 ※発表は、三月号紙面で発表致  
 します。

**〔十一月号の当選者〕**

十一月号の正解は「四つ」(下  
 の図の○印)でした。  
 応募者十二名で、正解者七名  
 でした。正解でなかった人にも  
 記念品を差し上げますので、広  
 報係まで申し出て下さい。  
 正解者は次の通りでした。

**《11月号の間違い箇所》**



- 南共栄 長正路朱美ちゃん、九才
- 〃 長正路東美ちゃん、八才
- 倭中 乾 垂矢ちゃん 八才
- 倭橋 森島真由美ちゃん、九才
- 当幌 阿部かおりちゃん
- 〃 阿部しのぶちゃん
- 〃 阿部るみちゃん
- 東十二条南八丁目
- 光野洋人くん 十一才
- 光野和則くん 十才

**案 内**

**育成牛飼養管理技術向上講習会**

講師 町村農場

**倉上英夫氏**

とき 一月十八日午前十時半  
 ところ 中標津町農協大会議室

主催 中標津町農業協同組合  
 後援 中標津乳牛改良同志会  
 中標津町農協青年部  
 中標津町農協婦人部

**税の知識**

根室税務所

◎脱税は割に合わない

所得税や法人税などは申告納  
 税制度を採っていますが、この  
 制度は納税者一人一人の良心に  
 よって支えられている民主的な  
 制度といえます。

しかし、申告しなければなら  
 ないのに申告しなかったり、誤  
 った申告をしたり、あるいは故  
 意に過少な申告をする納税者に  
 は、公平な課税を行うために、  
 的確な調査を行い正しい申告に  
 改めてもらっています。

また、特に悪質で大口な脱税  
 者に対しては、刑事罰を科すこ  
 とを目的とした査察調査を行っ  
 ています。査察調査を受けます

**12月の組合日誌**

- 一日〜四日 生活改善講習会
- 三日 地区酪対役員会
- 六日〜十四日 乳質改善巡回指  
 導
- 十日 乳用雄仔牛育成研修会
- 十三日 管理購買委員会
- 十五日 生産委員会
- 十六日 農協酪対役員会
- 十七日 馬鈴薯耕作者全体会議
- 二十日 営農委員会
- 二十一日 第九回理事会
- 三十日 御用納め

と、本税はもろろんのこと、重  
 加算税や延滞税を納めなければ  
 ならないほか、裁判により懲役  
 刑や罰金刑を受けます。  
 脱税は決して割に合いません。